

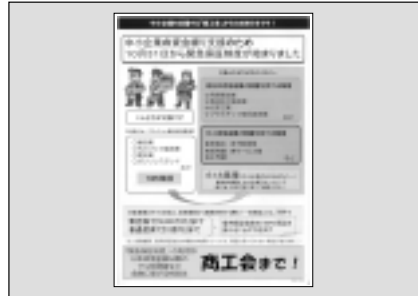
市内中小商工業者へ 市融資の補充拡大を

末次 和夫 議員

質問 アメリカ発金融危機の世界的な拡大により市内の中小商工業者の方々にも当然その影響が及び、資金繰り等厳しい状況が予想されるので、最低でも1・2年間、市の融資制度、特に運転資金の拡充等、早急な緊急支援策が必要と思うが、見解は。

市長 市内企業の状況は大変厳しいと認識しているが、国のセーフティネット保証制度及び市の融資制度の利用状況から、一時的な制度は創設せず、両制度の事務処理の迅速化

に努めるとともに、ワーキングチームでは融資限度額の拡大、限度額までの追加融資等の検討を進めている。



▲中小企業支援の商工会からのお知らせ

子育て条例の制定で子育て施策の充実を

増田 俊一 議員

質問 認定こども園やふっさっ子の広場など、保育と教育の分野でさまざまな施策を講じており、市民の交流の機会がふえ、協働して助け合う基礎は醸成していると思うので、行政と市民、民間の役割を明確にし、市民とともに子育て条例を制定してはどうかと思うが、市長の見解は。

市長 所信でも「子育てが元気」「教育が元気」を掲げ、少子化が進む中でも子どもたちが心身ともに健やかに成長し、安心して子育てがで

きる環境整備を進めていきたいと考えており、子育て条例制定については今後調査、研究をしていきたい。



▲大阪府池田市子ども条例(表紙)

ふっさっ子の広場 今までの経過は

串田 金八 議員

質問 以前、町会の行事は子どもが黙々と興じるゲーム機に勝てず情けない思いをしたが、昨年からは始まった「ふっさっ子の広場」に大いに期待している。行政の力をかり、地域がどのようにお手伝いできるかが楽しみだが、今までの経過を伺いたい。

市長 昨年10月、第六小学校で初めて開設し、今年6月に第三、第五、第七小学校で開設、各広場では統括指導員を初め指導員、見守り員を配置、また広場ごとに対象学区域の町会代

表も含む運営委員会を設置して方針、年間の事業計画等を決めており、順調に進んでいるところである。



▲第七小学校のふっさっ子の広場風景

玉川上水のコイ えさやり行為とその対策は

杉山 行男 議員

質問 大きくなりすぎたコイを保護して清流や小魚、蛍のえさとなるカワニナが生息できるようにすべきだと思うがどうか。野生化したコイなどへの餌付けは決して美談ではなく、生態系を壊すことになり、見守る勇気を持つべきだと思うがどうか。

市長 コイへのえさやりは水質の面からも好ましくないが、コイも蛍も自然の生き物であり、どちらを優先することができるのか今後皆様と相談させていただきたい。また野生

動物は、絶滅危惧種は別として基本的には自然の状態におくことが大切だと考えている。



▲玉川上水山王橋付近のコイ

災害弱者対策と 今後の進め方は

高橋 章夫 議員

質問 南関東直下型地震など、いつ起きてもおかしくない状況にある今日、病人、身体障害者、高齢者、妊婦、乳幼児等災害弱者と言われる方たちの救助や避難場所等の対応と、今後の進め方について伺いたい。

市長 対策の第一歩は、平成17年度の高齢者生活実態調査で、1人で避難が可能か等の把握を行い、要援護者台帳に登録し対応を図っている。現在は総務部・福祉部を中心に対策検討会を設置、今後は要援護

者の把握、避難誘導の対策等、有効で実効性ある方法を検討し、地域ぐるみの支援体制づくりを推進したい。



▲防災訓練風景 (H20.8.31 第六小学校)

給食センターの建て替え計画と今後の方針は

田村 昌巳 議員

質問 小学校給食センターの建て替えが計画されているが、現在の三小、四小の場所に建て替えるのか。

また、文部科学省の学校給食衛生管理基準に合わせた計画にすると思うが、計画と今後の方針について伺いたい。

教育長 一カ所に統合したセンターの建設に向け、財政問題、用地問題などの解決のためのプロジェクトチームを設置して検討を始めている。安全安心に裏付けされた給食を実施

するため、文部科学省の学校給食安全衛生管理基準に則して調理された給食を基本にしていきたい。



▲第2給食センター

議会を傍聴しましょう

本会議・委員会の傍聴はどなたでもできます。

詳しくは、議会事務局にお問合わせください。

TEL 551-1523 (ダイヤルイン)

次回定例会のお知らせ

平成21年第1回定例会は、3月3日(火)から3月30日(月)までを予定しています。なお、本会議及び常任委員会の開会時間は、午前10時です。(予定) また、予算審査特別委員会の開会時間は、午前9時です。(予定)